

がん細胞のレドックス制御系を標的とした創薬シーズの探索

河村 達郎

代謝の活性化・リプログラミングなどの理由から、がん細胞では活性酸素種 (ROS) のレベルが恒常的に高いことが知られている。ROS はその種類やレベルによって様々な細胞応答を引き起こすが、レドックスホメオスタシスの維持は細胞にとって重要であり、がん細胞のレドックス制御機構の破綻ががん治療の戦略として着目されている。

がん細胞のレドックス制御系を標的とした抗がん剤シーズの取得に向けて、ドイツ・マックスプランク研究所 (MPI) で行った取り組みについて紹介する。